

# オミクロン変異株流行下の疫学調査・介入

## 【前提条件】

- ・ 潜伏期間（感染～発症）：3日
- ・ 世代時間（発症～発症）：2日

想定：① 1人の陽性者が2人に同時に感染させる  
② 発症1日前に他の人に感染させる  
③ 発症後、2日後に検査し、翌日陽性判明する

- 当初、陽性者が判明し、2次感染者を検査し、陽性が判明。
- 積極的疫学調査①で2人の共通の感染源を見つけ出し、その集団を検査。
- 検査で更なる陽性者が判明。その時点では、既にクラスターになっている。
- 積極的疫学調査②を当初陽性判明時に検査しても既に感染が成立しているため、クラスターになっている。
- 感染予防対策が不十分な状況で陽性者が他の者と接触すれば、同時に何人者の2次、3次感染者が発生する。さらに、感染に気がつかなければ、4次、5次と感染が拡大してしまう。

## 事例1. （2名陽性判明後接触者調査） 通常のパターン

### 積極的疫学調査・介入

